

金沢競馬経営改善計画評価報告

平成21年12月

金沢競馬経営評価委員会

目 次

第1	平成19年度・20年度の振興策等及び開催成績の検証と評価	1
第2	平成21年度の振興策等及び開催成績の検証と評価	1
第3	金沢競馬経営改善計画の検証と評価(総評)	3
第4	金沢競馬経営改善計画の振興策等の取組状況(個別)評価 (平成19～21年度)	5

資 料

資料1	金沢競馬経営改善計画2ヵ年(平成19・20年度)の業績概況	10
資料2	歳入資料	12
資料3	一人当たりの平均購入単価の推移(自場発売)	13
資料4	全国の情勢	15

参考資料

金沢競馬経営評価委員会設置要綱
金沢競馬経営評価委員会運営要領
金沢競馬経営評価委員会委員名簿
金沢競馬経営評価委員会における検討経過

第1 平成19年度・20年度の振興策等及び開催成績の検証と評価

1 平成19年度

多頭数による魅力あるレース番組の提供、民間の活力やノウハウを活かした効率的・効果的な広報による発売促進等の各種振興策の取組に加え、開催経費・人件費の削減努力等の経営改善策により、県営開催において、約1,100万円の単年度収支の黒字化を達成した。

2 平成20年度

引き続き、効率的なPR活動の実施、レディースジョッキシリーズ等全国規模の交流競走の誘致、他場との連携強化、インターネット等による馬券購入（以下「在宅投票」という。）の拡充、一層の諸経費の削減努力により、県営開催において、約6,500万円、市営開催において、約100万円の単年度収支の黒字化を達成した。

第2 平成21年度の振興策等及び開催成績の検証と評価

1 総論

平成19年度・20年度に引き続き各種振興策の取組、また他場連携では東海地区に加え、新たに岩手・九州地区との連携強化、更に新たな広報振興策として『重賞レースのWEBキャンペーン』、『騎手交流会』、『婚活イベント』、『場外PRキャラバン』等を実施し、総売得額の増大に努める一方、開催経費・人件費の削減はもとより諸経費の更なる削減に努めている。

2 振興策等

平成21年度における振興策等について、まず短期振興策等については、概ね、平成19年度・20年度に引き続きその進捗が図られているが、中には、若者や女性の来場を促進する取組に、売得額増加の仕掛けが欠けている等、取組状況が未だ不十分であったり、一過性ではなく振

興策等の項目毎に強弱をつけて、今後も継続的に取り組む必要があるものも残されている。

また短期振興策等を踏まえ、その上での中期・長期の振興策等については、財源や制度面で制約を伴うものも多いが、引き続きその実施に向けた検討が必要である。

3 開催成績

(1) こうした振興策の取組努力にもかかわらず、自場発売が、近年例を見ない大幅な下落となり、一段と厳しい経営環境を余儀なくされている。

とりわけ、平成21年度は、急激な社会経済情勢の変化が、経営改善・健全化に向けた取組を著しく阻害している。

① 経済情勢としては、昨年秋以降の急激かつ大幅な景気後退の影響を受け、他の地方競馬主催者ともども売得額の減少等が顕著となり、以前にも増して厳しい経営環境に置かれている。

自場発売での入場者数の減少や1人当たりの馬券購入単価の著しい減少（以下「購買力の縮小」という。）に表れている。また、他の競馬場における金沢競馬の発売（以下「他場発売」という。）においても、発売日数の増加により売得額は伸びているものの、購買力の縮小が新たな懸念材料となっている。

自場発売における入場者数の減少及び購買力の縮小は、これまでも長期的傾向として推移してきたが、平成21年度は、とりわけ購買力の縮小が近年例をみない大幅なものとなっている。

なお、自場発売における購買力の縮小は、全地方競馬のみならず日本中央競馬会（JRA）も含め、更には公営競技全般にわたる傾向である。

このことは、厳しい雇用・所得環境の下、個人消費の冷え込みによるものと推測される。

② 社会情勢（購買行動）としては、自場発売、他場発売ともに、サラリーマン層を中心とした在宅投票への移行といった購買行動の急速な変

化がある。

総売得額は、他場発売、在宅投票の伸長に支えられているものの、一方で自場発売の落ち込み傾向が平成20年度以降、一段と顕著になってきている。

自場発売に比べて収益性の低い他場での発売や民間に委託している在宅投票の総売得額に占める構成比の拡大は、収益額全体を縮小させ、確固とした収益基盤を持つ自立した競馬事業の観点から、より一層の自場発売での売得額の確保が求められる。

- ③ 併せて、インターネットによる在宅投票の売得額は、年々着実に増加しており、今後においても成長が望める発売手段である。しかし、現在、在宅投票収益の約2分の1を委託料として委託業者に支払っている現状であり、競馬事業運営の厳しい折から、委託業者の委託料率引き下げについて、引き続き全国の主催者と一体となって働きかける必要がある。

- (2) 以上のことから、平成21年度の収支見通しについては、昨年秋以降の急激な社会経済情勢の変化が、経営改善・健全化に向けた取組を著しく阻害しており、先行きの不透明かつ厳しい状況に鑑みれば、現時点において、具体的数値をもって予測することは困難であるが、過去2カ年と比べ厳しい結果が予測される。

第3 金沢競馬経営改善計画の検証と評価(総評)

- 1 金沢競馬検討委員会(平成17年6月設置)が、平成18年12月に提言した振興策の取組状況及び収支状況は、経営改善計画期間内の平成19年度・20年度については、概ね適切であった。

平成21年度については、昨年秋以降の急激な景気悪化と、今後の景気回復の不透明な状況等、いわば不確実性の高い状況が続いており、昨今の「デフレ」、「円高」の進行という更なる悪化要因の追加が、今後の景気見通しの不透明さに一層の拍車をかけている。

このため、現時点で平成21年度の検証・評価を行うことは困難な状況にある。

2 同提言の「事業の評価と判断」の項において、「計画期間内に目標達成が見込まれれば、実施した振興策等の成果を点検し、さらに次なる目標を定めて、健全な事業運営に努力すべきである」が、「期限までの目標達成が困難と見込まれ、将来にわたっても明るい見通しが立たないと判断される場合には、速やかに競馬事業を廃止すべきである。この場合において、社会情勢の変化等により経営状態がさらに悪化し、事業の継続が困難な状況に陥れば、期限に至らずとも、速やかに一定の判断をすべきである」とする一方で、「期限までに判断することが困難な状況にあるときは、その次の年度の検証結果をもって見極めることもやむを得ないと考える」としている。

3 従って、これまでの長期にわたる厳しい経営状況に加え、今次の深刻な景気後退という経営環境の変容は、経営改善計画策定時(平成19年3月)の想定を超えるものであり、今年度中に今後の金沢競馬の将来見通しについて、一定の判断を下すには困難な状況にあり、改めて、今年度及び来年度にかけて、更なる振興策等の取組が求められるとともに諸情勢を見極める必要がある。

第4 金沢競馬経営改善計画の振興策等の取組状況(個別) 評価 (平成19～21年度)

1 魅力あるレース番組の提供

方策区分	NO.	取組状況	評価
計画目標【経営改善計画2(1)振興策①】			
趣向を凝らしたレースの実施など、魅力ある番組編成に取り組む。(準メインレースの導入、全国の女性騎手の招致など)馬券の多様な組み合わせと白熱した競馬を提供するため、レースあたりの出走頭数を10頭以上確保する。			
短期方策	1	力の均衡したレースや短距離レースの実施	◎
	2	スタート時間の厳守	◎
	3	ドリームレースの実施 (ファン投票により、出走馬、騎乗騎手を選抜)	◎
	4	賞金、出走手当の引き上げ(スターホース・スタージョッキーの育成、在厩馬の安定的な確保)	◎
	5	他場で実施するナイターレースの場外発売増	◎
	6	重賞レースの増	○
	7	JRA(中央競馬)の馬券発売	▼
中期方策	8	馬主の所得制限(500万円以上)の緩和(在厩馬の安定的な確保)	▼
	9	馬券への馬名の表記	▼
	10	ナイター競馬の開催(事例調査、実績など)	▼
	11	階式の単純化(お金の回転を生むように)	×
	12	JBC競走(ジ・パヴ・ア・リダ・グ・X・カブ)の誘致	×
長期方策	13	馬場の改修(アップダウンのあるコース、コースの芝生化、馬場の半ドーム化<冬季の競馬開催長期計画>)	▼
	14		
	15		

2 ITを活用した販売促進

方策区分	NO.	取組状況	評価
計画目標【経営改善計画2(1)振興策②】			
インターネット投票などIT企業との連携強化により、馬券発売を促進する。			
短期方策	16	IT関連企業との連携等による馬券の発売促進	◎
	17	インターネット(ホームページ)による馬券発売、ライブ中継(観戦)	◎
中期方策	18	インターネット(ホームページ)の海外向け発信(外国語版)	▼

(凡例) ◎：実施済 ○：取組中 ▼：未着手 ×：実施困難

3 快適な環境づくり

計画目標【経営改善計画2 (1) 振興策③】

明るく、清潔で、安心して楽しめるような快適な環境づくりをさらに推進する。

方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価	
短期方策	19	初心者専用窓口の設置 (案内窓口、説明ガイドによる購入方法のレクチャー等)	◎	<p>・初心者向けのサービスは、初心者向け窓口やホースパークレディの活用で向上しているが、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>・その他ソフト面でのサービス向上は、随時実施されてきているが、ハード面でのサービス向上としてコンビニエンスストアの設置やATMの設置、芝生広場の活用など検討を継続する必要がある。</p> <p>・施設の改修等については、それまでの、施設の老朽化による「古い・汚い」というイメージはある程度払拭できたが、レジャー施設としては不十分であり、今後も費用対効果を考慮しつつ環境整備に努める必要がある。</p> <p>・特に中・長期方策にあるエスカレーターの設置等については、膨大な事業費を要することになるため、施設改修等の計画を再構築し、売得収入の状況を見極めながら対応していく必要がある。</p>	
	20	初心者用に出走馬データを簡単に検索できるシステムの導入 (馬券購入方法も併せて説明)	◎		
	21	出走馬の情報やオッズが好きなときに見ることができるシステムの導入 (携帯電話、ノートパソコン、貸出用モバイル等)	◎		
	22	売場、観覧席 (ベア席、ファミリー席等) の改修	◎		
	23	スタンド棟内における喫煙場所の限定 (基本的には全面禁煙：3F観覧席と同様に)	◎		
	24	イメージアップのためのトイレ、壁、床等の改修 (明るくて健全なイメージ、現代的で清潔感のある雰囲気)	◎		
	25	入場口の改修	◎		
	26	保育室の設置 (女性ファンのために)	◎		
	27	入場者のマナー向上 (清掃にかかるコスト削減)	◎		
	28	入場料金 (100円)、特別観覧席 (1,000円) の見直し	◎		
	29	悪天候対策 (階馬場側出入り口の戸、暖房設備の設置)	○		
	30	発売窓口の充実・迅速化 (自動機の増、芝生広場への設置、払戻専用機の設置等)	◎		
	31	シルバークラウン席、シニアサロンの設置	◎		
	32	芝生広場の利活用 (遊園地の改修、テニスコート等の設置、屋根付きスペースの確保等)	◎		
	33	年間指定席の設置	○		
	34	馬主席の利活用 (開放、廃止なども含めた見直し)	○		
	35	急な段差の解消、身体障害者が特別観覧席まで入られるコース設置	○		
	36	ATM (現金自動預け払い機) の設置	○		
	37・38	コンビニエンスストア、お洒落な飲食店、ファーストフード店の出店 (若年層対策)	○		
	中期方策	39	競馬場近隣への大型集客施設 (スパー、家電店、ゲームセンター等) 誘致等の周辺環境の整備		○
		40	キャンブル特区への働きかけ		○
		41	馬券購入・払戻等に対するICカード化 (パチンコの預球方式)		▶
		42	各席で投票することができるシステムの導入 (特別観覧席等)		▶
		43	有料オッズプリンターの設置		▶
		44	下見所に電光掲示板を設置		▶
		45	全席に机を設置		▶
		46	タッチパネルやビデオ方式で出走馬や騎手の紹介が気軽に見ることができる機器の設置		▶
		47	エスカレーターの設置 (高齢者対策)		○
		48	ミニ特別観覧席の設置 (未使用部分の活用)		▶
長期方策	49	2階席の改修 (全面ガラス張り)	▶		
	50	レース観戦 (馬券購入) できるレストランの設置	▶		
	51	スケート場の設置 (未使用部分の活用)	▶		
	52	結婚披露宴、各種パーティーの実施	▶		

4 効果的なPR活動

計画目標【経営改善計画2 (1) 振興策④】		金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言		
	53	入場券のプリバードカード化、回数券化	○	
	54	各種催事を折り込んだ競馬まつりの開催（騎手協会、野菜市、馬とのふれあい体験、7リマークト、巨大迷路、花火大会など）	○	「金沢ホースパーク」という呼称を新たに設け、親しみやすいイメージに一新するとともに、広報の一括委託により、民間手法による効果的かつ多様な多様なメディアを活用した広報展開を実施している。
	55	子供たちの遠足への活用	○	
	56	常連客や高額の中心者に称号（先生・博士）授与	○	広報内容としては、各種催事を折り込んだイベント、競馬関係者の協力によるファン参加型イベント、抽選会等のファンサービスの実施を図っている。
	57	ポイントカードの発行等によるサービス化、特典化（入場、馬券購入の回数や金額によりポイントを貯め、景品がもらえる）	○	今後より競馬場が身近なものとなるようPR活動を実施していく必要がある。
短期方策	58	外れ馬券を再利用した抽選会への応募（後日、当選者を掲示発表することにより再来場を促す）	○	競馬に関する資料館の設置やコンサートへの活用など、概ねは達成しているが、大きな経費を伴うものについては、費用対効果の検証を行う等継続して検討していく必要がある。
	59	場内広場への出店者募集：冠レースと同様な扱い（屋台、ワゴン売り店等）	○	
	60	ファン参加型の競馬運営（重方部分の公開、1日開催執務委員長）	○	
	61	職員個人車面に競馬ポスター（ステッカー）の貼付	○	
	62	金沢競馬インフォメーションとしての文化施設等における掲示等	○	金沢競馬に親しみをもちたい若者・家族層向けのステージイベントを定期的に実施しているが、一方で競馬ファンの来場や馬券発売につながる仕掛け作りも併せて必要であり、検討を継続する必要がある。
	63	ネットバンク投票、インターネット投票などのPR	○	
	64	競馬のイメージを改善するPR方法	○	
	65	金沢競馬場のネーミング、ロゴマークの周知	○	
	66	新聞（地方紙、全国紙、スポーツ紙）、テレビ（CF作成のうえ放映）、パソコン等による広告宣伝	○	
	67	タウン情報誌や情報番組での金沢競馬の紹介（施設、馬の紹介や競馬体験レポート）	○	
	68	場内における酒類販売の適否	○	
	69	パチンコ等と比較して、競馬そのものの魅力、おもしろさを広く掘り起こ	○	
	70	野外彫刻展の実施（金沢美大等との連携）	×	
	71	競馬に関する資料館、ミュージアムショップの設置	○	
	72	コンサートへの活用（全国区のタレント、地元大学のバンド等）	○	
	73	地元特産品や人気商品の限定発売（競馬以外の要素の追加）	○	
	74	イベント参加団体に無料送迎サービスを実施	○	
	75	一定枚数の外れ馬券（マイルレーン方式）で景品交換	○	
	76	ホースピクニックの復活・充実	○	
	77	競馬とのふれあいの場（非開催日の厩舎、調教見学等）	○	
	78	ハルウララの全国キャラバン誘致	○	
	79	各種イベントへの積極参加（鹿川まつり、歩行者天国等）	○	
中期方策	80	ホースセラピーや乗馬教室の開催	○	
	81	ゲームセンターへの設置（子供連れや若者向けに1日中遊べる施設）	○	
	82	民間企業の懇親会、グラントゴルフ等への活用	○	
	83	金沢競馬サボーターズクラブ（仮称）の結成	○	
	84	県庁、金沢駅、能登空港等へのレース映像の発信	○	
	85・86	観光客、観光会社へのPR、温泉等の観光コースへの取り込み	○	
	87	映像、音楽を若者向けに変更	○	
	88	カードマン、清掃員等の制服を遊び心のある洒落たものに変更	○	
	89	野外コンサート等のイベント開催に活用（使用料収入の確保）	○	
	90	場内における農産物、海産物、その他商品販売による収益	○	

5 冠レースへの参加促進

計画目標【経営改善計画2 (1) 振興策⑤】		金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言		
		レースに個人、企業の名前を付ける冠レースへの参加呼びかけを積極的に行う。		
中期方策	91	冠レースの料金の体系化	○	冠レースの料金を体系化した上で特典等を付与し、拡充に取り組んできており、今後も継続して実施していく必要がある。 個人冠レースについては、周知も進み応募も安定しているが、企業応募の件数アップが課題となっている。今後企業二一ズに広げる仕組みが必要である。

（凡例）◎：実施済 ○：取組中 ▼：未着手 ×：実施困難

6 ミニ場外発売所の設置検討

計画目標【経営改善計画2 (1) 振興策⑥】		金沢競馬検討委員会提言	
方策区分	NO.	取組状況	評価
短期方策	92	▼	・ミニ場外発売所を設置した場合、競馬投票券の購入場所を本場からミニ場外発売所へ移行させるおそれもあり、ミニ場外発売所設置による新規ファン獲得には課題も多いが、今後も愛知県競馬組合の大須場外発売所の実績状況を見極める必要がある。

7 他場との連携強化

計画目標【経営改善計画2 (2)】		金沢競馬検討委員会提言	
方策区分	NO.	取組状況	評価
短期方策	93	◎	・他場との連携をより高め、相互に有利な開催曜日の調整を今後も継続していく必要がある。
短期方策	94	◎	
短期方策	95	◎	
中期方策	96	◎	

8 職員・従業員の削減

計画目標【経営改善計画2 (3) ①】		金沢競馬検討委員会提言	
方策区分	NO.	取組状況	評価
短期方策	97	◎	・職員については計画どおり19～21年の3カ年で7名の削減を実施している。 ・従業員については、開催業務に支障がない範囲で配置人員を見直し、人員削減を進め、開催経費の削減を図ってきた。更なる外部委託の可能性の検討等人員削減の検討が必要である。
中期方策	98	○	

9 民間委託の促進

計画目標【経営改善計画2 (3) ②】		金沢競馬検討委員会提言	
方策区分	NO.	取組状況	評価
短期方策	99	◎	・競争入札の拡大、細分化した業務を一本化して一括契約し、契約額の引き下げと業務の効率化を今後も継続して実施する必要がある。一括委託した投票業務、広報業務以外の業務についても、今後契約方法・手法について継続して検討が必要である。
短期方策	100	◎	

(凡例) ◎：実施済 ○：取組中 ▼：未着手 ×：実施困難

10 ファン送迎バスの運行経費見直し

計画目標【経営改善計画2(3)③】		評価	
方策区分	NO.	取組状況	評価
ファンへのサービス低下を極力抑えつつ、運行経費の更なる縮減に向けた取り組みを進める。 (利用率の低い運行ルートの見直し、最寄駅とのシャトル化など)			
短期方策	101	ファン無料送迎バスの効率的な運行ルート（シャトル化も含む）の検討	◎
中期方策	102	ファン無料送迎バスの廃止又は有料化	▼
長期方策	103	金沢駅からの乗合タクシー制度、タクシー及び乗合バスの定額化	▼

11 制度の改正要望

計画目標【経営改善計画2(4)】		評価	
方策区分	NO.	取組状況	評価
他の地方競馬主催者と連携しながら、引き続き、地方競馬の経営改善に資する制度改正について、国等への積極的な要望活動を行う。			
短期方策	104	◎	地方公共団体金融機構納付金について、今後も競馬事業からの納付制度の廃止を求める要望活動を継続して行う必要がある。

12 すべての競馬関係者の意識改革

計画目標【経営改善計画2(5)】		評価	
方策区分	NO.	取組状況	評価
職員のみならず、全ての競馬関係者の意識改革を図り、競馬関係者が一体となって経営改善に取り組む。（関係団体連絡会の積極的な活用など）			
短期方策	104	◎	より良い経営方策について、きょう舎関係者と協議を継続して行う必要がある。

13 その他施策

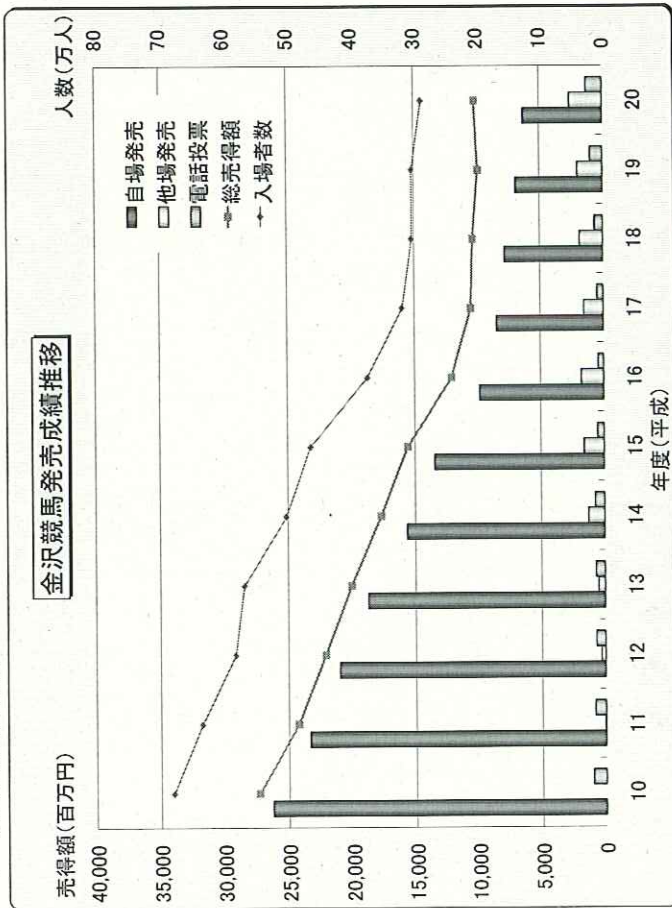
計画目標【経営改善計画2(6)】		評価	
方策区分	NO.	取組状況	評価
ファン（生の声）を聴く機会の設定 社会の経済動向（景気、GDPなど）と売得額との経時変化の整理（今後の景気変動の予測により、売得額を把握するため） 競馬場改革〇年計画等を策定（関係諸団体間での情報共有、十分な協議） 第三者による経営診断の実施 場内の施設貸付けによる収入確保（馬場内重賞看板等）、企業とのスポンサー契約（勝負服、大画面にCM） 各種負担金・補助金の削減・廃止 手荷物預りの有料化（人件費との均衡、ロッカー化） 駐車場の有料化 全観客席の特別観覧席（有料）化 きょう舎、宿舎の家賃等、場内店舗の賃料の見直し			
短期方策	105	◎	ファン（生の声）を聴く機会の設定
短期方策	106	◎	社会の経済動向（景気、GDPなど）と売得額との経時変化の整理（今後の景気変動の予測により、売得額を把握するため）
短期方策	107	◎	競馬場改革〇年計画等を策定（関係諸団体間での情報共有、十分な協議）
短期方策	108	◎	第三者による経営診断の実施
短期方策	109	◎	場内の施設貸付けによる収入確保（馬場内重賞看板等）、企業とのスポンサー契約（勝負服、大画面にCM）
短期方策	110	◎	各種負担金・補助金の削減・廃止
短期方策	111	◎	手荷物預りの有料化（人件費との均衡、ロッカー化）
短期方策	112	◎	駐車場の有料化
短期方策	113	◎	全観客席の特別観覧席（有料）化
短期方策	114	◎	きょう舎、宿舎の家賃等、場内店舗の賃料の見直し
短期方策	115	×	

(凡例) ◎：実施済 ○：取組中 ▼：未着手 ×：実施困難

資 料

歳入資料

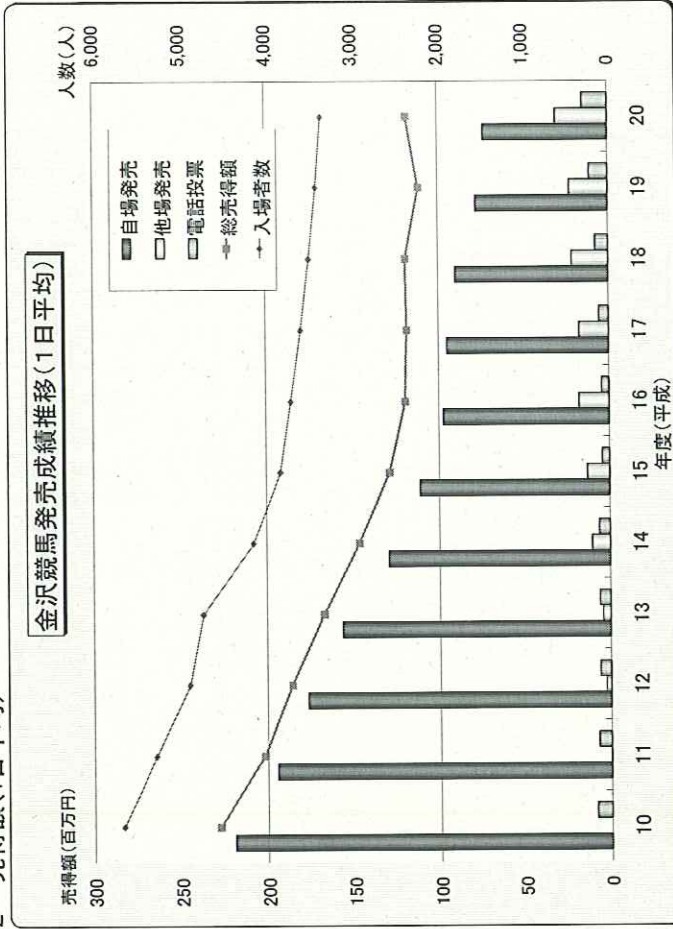
1 売得額(年度別)



金沢競馬開催成績推移

区分	開催日数	入場者数		総売得額		自場発売		他場発売		電話投票	
		対前年比	人数	対前年比	売得額	対前年比	売得額	対前年比	売得額	対前年比	売得額
平成10年度	120	91.1%	680,141	88.6%	27,297,718	96.3%	26,281,931	0.0%	0	0.0%	1,015,787
平成11年度	120	93.3%	634,861	88.7%	24,222,733	96.3%	23,331,573	0.1%	29,557	0.1%	861,603
平成12年度	119	91.8%	582,565	91.2%	22,099,248	95.2%	21,034,148	1.5%	325,367	1.5%	739,733
平成13年度	120	97.6%	568,412	90.7%	20,042,619	93.7%	18,777,393	2.6%	530,264	2.6%	734,962
平成14年度	121	88.4%	502,242	88.4%	17,714,744	88.5%	15,680,602	7.2%	1,275,961	7.2%	758,181
平成15年度	121	92.4%	464,244	88.0%	15,581,434	86.5%	13,474,506	10.2%	1,586,891	10.2%	520,037
平成16年度	101	80.8%	375,099	77.3%	12,052,061	81.6%	9,834,314	14.8%	1,780,324	14.8%	437,423
平成17年度	89	85.2%	319,545	87.3%	10,516,954	80.5%	8,462,883	14.7%	1,546,272	14.7%	505,799
平成18年度	87	95.2%	304,121	95.8%	10,055,499	77.6%	7,804,847	18.5%	1,862,964	18.5%	628,975
平成19年度	89	99.8%	303,520	98.2%	9,877,552	69.8%	6,898,916	20.3%	2,003,057	20.3%	977,178
平成20年度	86	94.9%	287,924	102.7%	10,146,367	61.8%	6,273,026	25.6%	2,601,582	25.6%	1,273,759

2 売得額(1日平均)



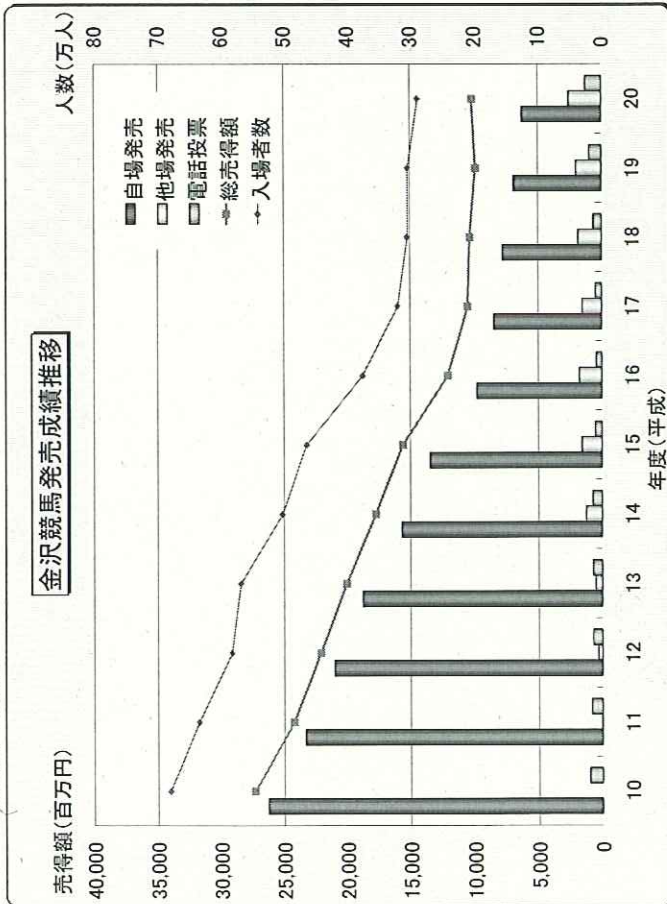
金沢競馬開催成績推移(1日平均)

区分	入場者数		総売得額		自場発売		他場発売		電話投票	
	対前年比	人数	対前年比	売得額	対前年比	売得額	対前年比	売得額	対前年比	売得額
平成10年度	95.6%	5,668	93.1%	227,481	96.3%	219,016	0.0%	0	0.0%	8,465
平成11年度	93.3%	5,291	88.7%	201,856	96.3%	194,430	0.1%	246	0.1%	7,180
平成12年度	92.5%	4,896	92.0%	185,708	95.2%	176,758	1.5%	2,794	1.5%	6,216
平成13年度	96.8%	4,737	89.9%	167,022	93.7%	156,478	2.6%	4,419	2.6%	6,125
平成14年度	87.6%	4,151	87.7%	146,403	86.5%	129,592	7.2%	10,545	7.2%	6,266
平成15年度	92.4%	3,837	88.0%	128,772	86.5%	111,360	10.2%	13,115	10.2%	4,298
平成16年度	96.8%	3,714	92.7%	119,327	81.6%	97,369	14.8%	17,627	14.8%	4,331
平成17年度	96.7%	3,590	99.0%	118,166	80.5%	95,089	14.7%	17,396	14.7%	5,683
平成18年度	97.4%	3,496	97.8%	115,580	77.6%	89,711	18.5%	21,413	18.5%	7,230
平成19年度	97.6%	3,410	96.0%	110,984	69.8%	77,516	20.3%	22,506	20.3%	10,980
平成20年度	98.2%	3,348	106.3%	118,004	61.8%	72,942	25.6%	30,251	25.6%	14,811
平成21年度	96.3%	3,224	1.4%	120,438	54.5%	65,646	28.8%	34,660	28.8%	20,131

※平成21年度については通算18回までのデータ

歳入資料

1 売得額(年度別)

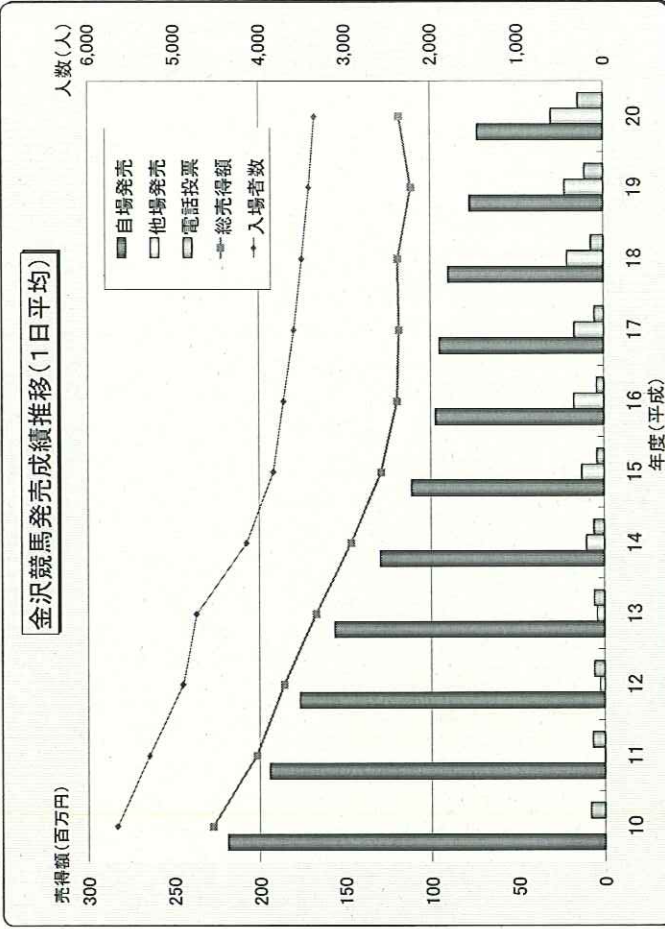


金沢競馬開催成績推移

区分	開催日数	入場者数		総売得額		自場発売		他場発売		電話投票	
		対前年比	売得額	対前年比	売得額	対前年比	売得額	対前年比	売得額	対前年比	売得額
平成10年度	120	91.1%	27,297,718	88.6%	26,281,931	96.3%	0	0.0%	1,015,787	3.7%	
平成11年度	120	93.3%	24,222,733	88.7%	23,331,573	96.3%	29,557	0.1%	861,803	3.6%	
平成12年度	119	91.8%	22,099,248	91.2%	21,034,148	95.2%	325,367	1.5%	739,733	3.3%	
平成13年度	120	97.6%	20,042,619	90.7%	18,777,393	93.7%	530,264	2.6%	734,962	3.7%	
平成14年度	121	88.4%	17,714,744	88.4%	15,680,602	88.5%	1,275,961	7.2%	758,181	4.3%	
平成15年度	121	92.4%	15,581,434	88.0%	13,474,506	86.5%	1,866,891	10.2%	520,037	3.3%	
平成16年度	101	80.8%	12,052,061	77.3%	9,834,314	81.6%	1,780,324	14.8%	437,423	3.6%	
平成17年度	89	85.2%	10,516,954	87.3%	8,462,883	80.5%	1,546,272	14.7%	505,799	4.8%	
平成18年度	87	95.2%	10,055,499	95.6%	7,804,647	77.6%	1,862,964	18.5%	628,975	6.3%	
平成19年度	89	99.8%	9,877,552	96.2%	6,898,916	89.8%	2,003,057	20.3%	977,178	9.9%	
平成20年度	86	94.9%	10,148,367	102.7%	6,273,026	61.8%	2,601,582	25.6%	1,273,759	12.6%	
平成21年度											

※平成21年度については選挙18回までのデータ

2 売得額(1日平均)

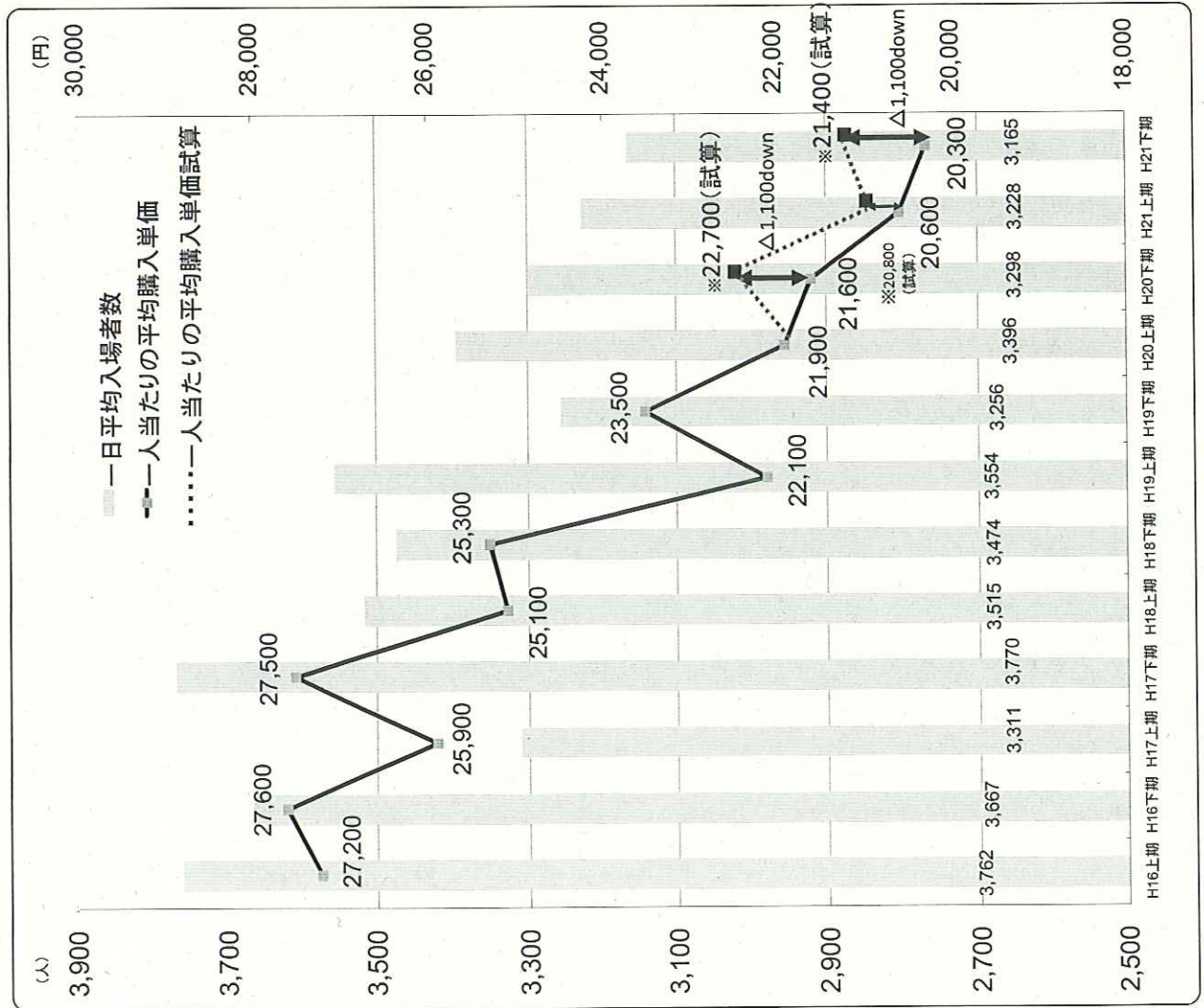


金沢競馬開催成績推移 (1日平均)

区分	入場者数		総売得額		自場発売		他場発売		電話投票	
	対前年比	売得額	対前年比	売得額	対前年比	売得額	対前年比	売得額	対前年比	売得額
平成10年度	95.6%	227,481	93.1%	219,016	96.3%	0	0.0%	8,465	3.7%	
平成11年度	93.3%	201,856	88.7%	194,430	96.3%	246	0.1%	7,180	3.6%	
平成12年度	92.5%	185,708	92.0%	176,758	95.2%	2,734	1.5%	6,216	3.3%	
平成13年度	96.8%	167,022	89.9%	156,478	93.7%	4,419	2.6%	6,125	3.7%	
平成14年度	87.6%	146,403	87.7%	129,592	88.5%	10,545	7.2%	6,266	4.3%	
平成15年度	92.4%	128,772	88.0%	111,360	86.5%	13,115	10.2%	4,298	3.3%	
平成16年度	96.8%	119,327	92.7%	97,369	81.6%	17,627	14.8%	4,331	3.6%	
平成17年度	96.7%	118,166	99.0%	95,089	80.5%	17,396	14.7%	5,683	4.8%	
平成18年度	97.4%	115,580	97.8%	89,711	77.6%	21,413	18.5%	7,230	6.3%	
平成19年度	97.6%	110,984	96.0%	77,516	69.8%	22,506	20.3%	10,980	9.9%	
平成20年度	98.2%	118,004	106.3%	72,942	61.8%	30,251	25.6%	14,811	12.6%	
平成21年度	96.3%	120,438	1.4%	65,646	54.5%	34,660	28.8%	20,131	16.7%	

資料 3

一人当たりの平均購入単価の推移（自場発売）

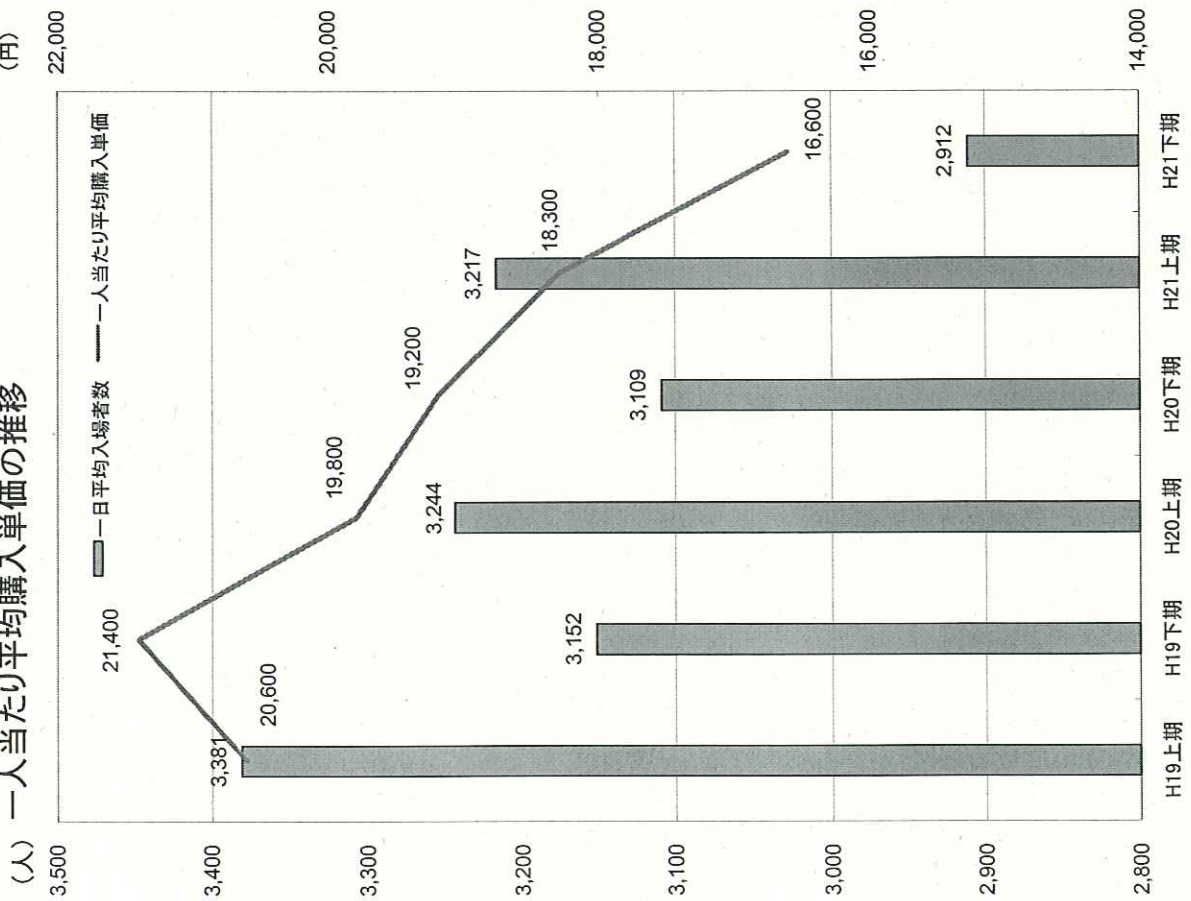


※H21下半期は通算18回まで

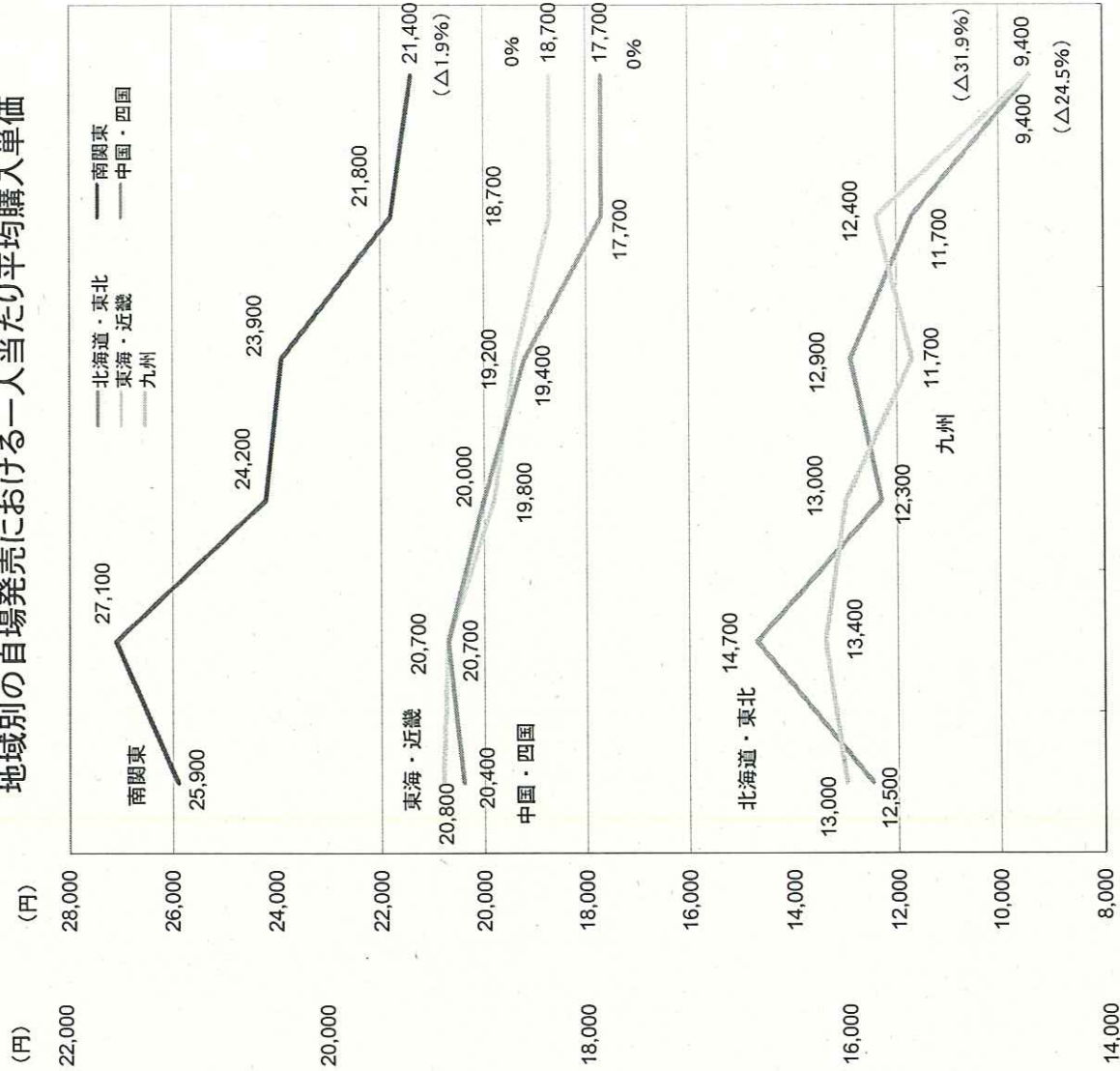
H16以降、一人当たりの平均購入単価は、上半期よりも下半期に上昇する傾向を示してきたが、H20下半期以降、下落が続いている。

3 全国地方競馬の状況

地方競馬の自場発売における一日平均入場者数・
一人当たり平均購入単価の推移



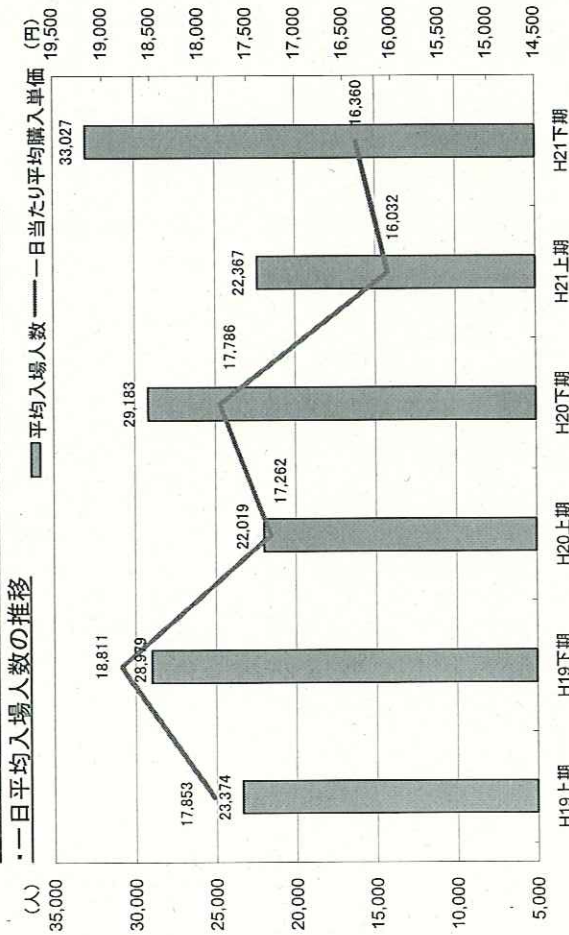
地域別の自場発売における一人当たり平均購入単価



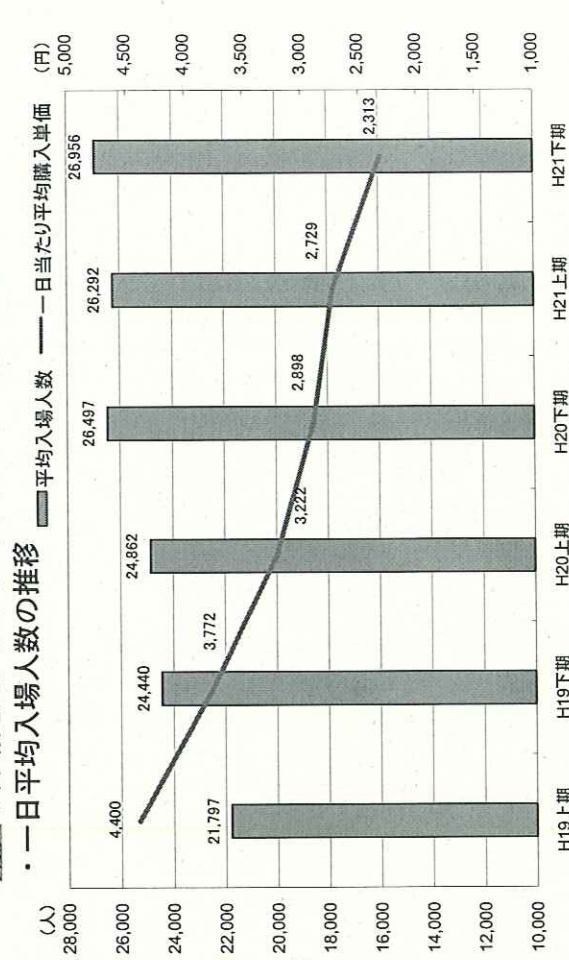
※地方競馬全国協会公表資料

4 全国公営競技の状況

中央競馬(JRA)の自場発売における一人当たり平均購入単価

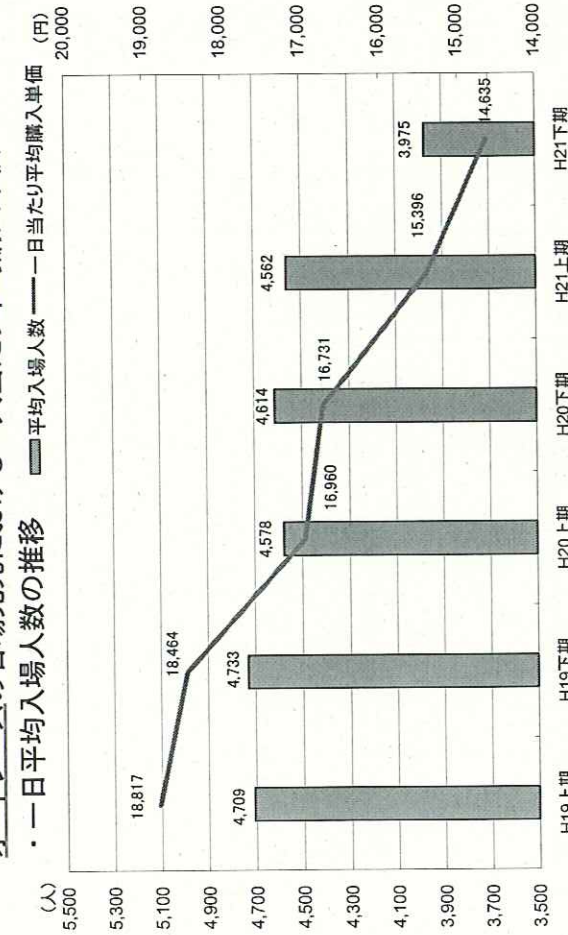


競艇の自場発売における一人当たり平均購入単価

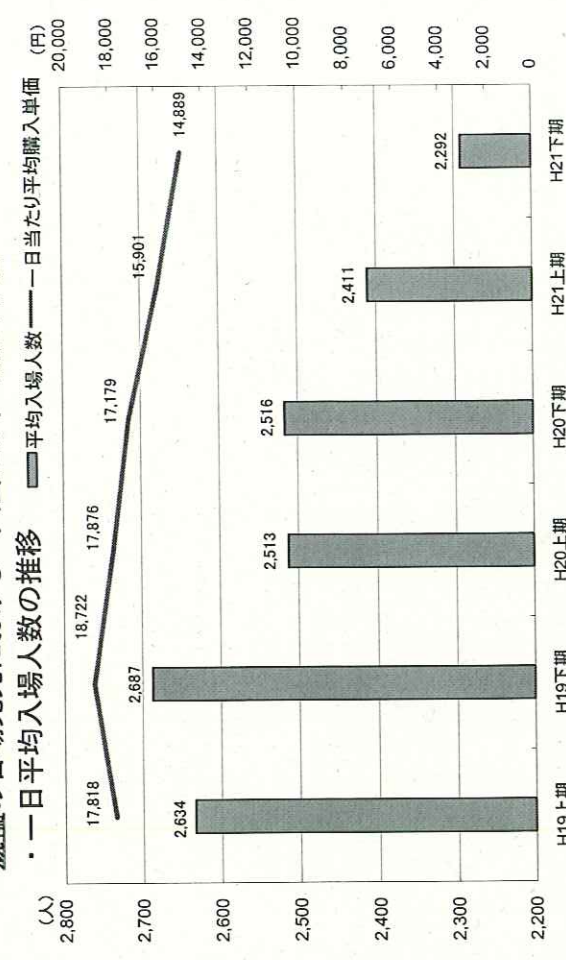


※競艇は入場人数ではなく利用者数で集計し、一人当たり平均購入単価は、売得額÷利用者数で算出している

オートレースの自場発売における一人当たり平均購入単価



競輪の自場発売における一人当たり平均購入単価



※各データ：地方競馬全国協会公表資料より

参 考 资 料

金沢競馬経営評価委員会設置要綱

(設置目的)

第1条 金沢競馬経営改善計画（平成19年度～21年度の3カ年計画）による収支状況、振興策の取組状況等について、検証・評価を行うため、金沢競馬経営評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(事業)

第2条 委員会は、次の事項を検証・評価する。

- (1) 各種振興策の取組状況に関する事
- (2) 収支状況に関する事
- (3) その他関連する事項

(組織)

第3条 委員会は、石川県知事が委嘱した者をもって組織する。

- 2 委員会に、委員長及び委員長代理を置く。
- 3 委員長は、委員の互選により定める。
- 4 委員長代理は、委員長の指名による。

(職務)

第4条 委員長は、委員会を統括し、代表する。

- 2 委員長代理は、委員長を補佐する。
- 3 委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長代理がその職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、委員会の終了する日までとする。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決すところによる。
- 3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、石川県競馬事業局金沢競馬対策室において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年9月1日から施行する。

金沢競馬経営評価委員会運営要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、金沢競馬経営評価委員会設置要綱（以下「要綱」という。）第8条の規定により、必要な事項を定めるものとする。

(会議の招集)

第2条 委員長は、金沢競馬経営評価委員会（以下「委員会」という。）の会議を招集しようとするときは、あらかじめその期日、場所及び検討事項を委員に通知するものとする。

(会議の非公開)

第3条 委員長は、必要があると認めるときは、委員会の会議を非公開とすることができる。

2 委員長は、委員会の会議を非公開とするときは、あらかじめ委員に諮り、会議において決定するものとする。ただし、第1回の委員会の会議を非公開とするときは、当該委員会の会議の冒頭において委員に諮り、当該会議で決定するものとする。

3 委員会の会議を非公開とした場合は、委員会の会議の終了後、会議結果について事後発表（記者会見又は資料提供）するものとする。

(会議録)

第4条 委員会の議事については、会議録を調製し、会議の概要を作成するものとする。

(雑 則)

第5条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要領は、平成21年9月1日から施行する。

金沢競馬経営評価委員会 委員名簿

氏 名	役 職 名 等	備 考
大 山 勝	元 全国公営競馬主催者協議会 専務理事	
越 島 正 喜	石川県商工会議所連合会 専務理事	
坂 下 清 司	公認会計士	
西 徹 夫	弁 護 士	委員長代理
丸 山 利 輔	石川県立大学 参与	委員長
森 田 郁 代	石川県婦人団体協議会 理事	
横 山 朱 門	(株)北國新聞社 論説委員長	
(7名)		

(敬称略：五十音順)

金沢競馬経営評価委員会における検討経過

開催回	開催日	検討事項
第1回	平成21年9月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長の選任、経営評価委員会の進め方等 ・経営改善計画2カ年（19・20年度）の業績 ・振興策の取組状況
第2回	平成21年11月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善計画最終年（21年度）の業績概況等 ・振興策の取組状況評価
第3回	平成21年12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善計画評価(案)の協議・決定